

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 企業物価指数(2009年3月)

発表日 2009年4月13日(月)

～夏場にかけてマイナス幅が拡大していく見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 中本 泰輔

TEL : 03-5221-4789

(単位: %)

		国内企業物価				国内企業物価 (連鎖指数)		輸出物価		輸入物価		
		前期比	前年比	消費財 (国内品)		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	
07	4月	0.8	1.9	0.2	▲0.8	0.7	1.5	1.4	3.4	3.3	6.7	
	5月	0.3	1.7	0.2	▲0.4	0.2	1.4	1.4	6.9	3.5	11.1	
	6月	0.1	1.8	▲0.1	▲0.5	0.1	1.5	1.2	6.5	1.6	10.3	
	7月	0.7	1.9	0.2	▲0.5	0.6	1.5	▲0.3	4.7	▲0.2	8.4	
	8月	0.0	1.6	0.1	▲0.7	0.1	1.3	▲3.1	0.8	▲2.2	4.0	
	9月	▲0.1	1.3	▲0.1	▲0.9	▲0.1	1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	1.9	
	10月	0.3	2.0	0.2	▲0.2	0.2	1.8	0.6	▲0.6	3.3	6.9	
	11月	0.2	2.3	0.5	0.5	0.3	2.2	▲2.6	▲2.3	▲0.7	8.3	
	12月	0.4	2.7	0.6	1.0	0.4	2.4	0.4	▲2.1	4.1	12.5	
	08	1月	0.3	3.1	▲0.3	1.4	0.2	2.7	▲2.4	▲5.8	▲2.2	7.1
		2月	0.5	3.6	0.4	1.8	0.5	3.3	0.5	▲5.3	1.6	11.0
		3月	0.5	3.9	0.4	2.3	0.4	3.5	▲3.0	▲6.8	▲2.7	8.3
4月		0.9	4.1	▲1.4	0.7	0.8	3.6	2.5	▲5.9	6.7	11.9	
5月		1.1	4.9	1.7	2.2	1.0	4.5	1.7	▲5.6	4.1	12.5	
6月		0.9	5.8	0.8	3.2	0.7	5.1	2.8	▲4.1	7.3	18.8	
7月		2.3	7.5	0.7	3.7	1.9	6.5	1.2	▲2.8	2.7	22.2	
8月		0.1	7.6	0.1	3.7	0.2	6.6	0.1	0.5	2.3	27.8	
9月		▲0.6	7.0	▲0.3	3.5	▲0.5	6.3	▲2.9	▲1.5	▲6.6	20.5	
10月		▲2.1	4.5	▲1.1	2.1	▲1.5	4.4	▲7.4	▲9.4	▲11.2	3.6	
11月		▲1.8	2.4	▲1.5	0.1	▲1.5	2.6	▲4.6	▲11.3	▲12.4	▲8.6	
12月		▲1.1	0.9	▲1.0	▲1.5	▲1.0	1.1	▲3.8	▲15.0	▲12.2	▲22.9	
09	1月	▲1.2	▲0.7	▲0.7	▲1.9	▲1.2	▲0.3	▲0.9	▲13.6	▲4.6	▲24.8	
	2月	▲0.5	▲1.6	0.1	▲2.2	▲0.4	▲1.1	0.6	▲13.6	2.2	▲24.3	
	3月	▲0.2	▲2.2	▲0.1	▲2.7	▲0.1	▲1.6	3.8	▲7.5	3.4	▲19.6	

(出所) 日本銀行

○3月の国内企業物価は前月比▲0.2%

3月の国内企業物価は前月比▲0.2%、前年比▲2.2%とコンセンサス(前年比▲1.8%、レンジ: 同▲2.1%~同▲1.2%)をやや下回った。国内企業物価は7ヶ月連続で前月比マイナスとなり、引き続き下落基調が続いている。

前月比の内訳をみると、鉄鋼(前月比▲1.8%、同寄与度▲0.12%ポイント)、スクラップ類(同▲12.4%、同寄与度▲0.05%ポイント)、農林水産物(同▲1.4%、同寄与度▲0.03%ポイント)、加工食品(同▲0.3%、同寄与度▲0.03%ポイント)、プラスチック類(同▲0.4%、同寄与度▲0.02%ポイント)などがマイナスに寄与し、非鉄金属(同+2.5%、同寄与度+0.05%ポイント)、輸送用機器(同+0.3%、同寄与度+0.05%ポイント)などがプラスに寄与した。

これまで、国内企業物価の大幅な下押し圧力となっていた石油・石炭製品、非鉄金属であるが、先物価格が幾分持ち直してきたことから、いずれも前月比プラスに転じた。一方で、原材料価格の下落を受けて、鉄鋼やプラスチック製品などでは、引き続き下落基調が続いている。

○消費財の国内品は前年比▲2.7%

国内品を需要段階別にみると、素原材料は前年比▲20.4%(2月: 同▲15.8%)、中間財は同▲1.7%(2月: 同▲1.0%)、最終財は同▲1.7%(2月: 同▲1.3%)といずれもマイナス幅が拡大した。また、消費者物価の財価格と関連の深い消費財の国内品は同▲2.7%(2月: 同▲2.2%)と、こちらもマイナス幅

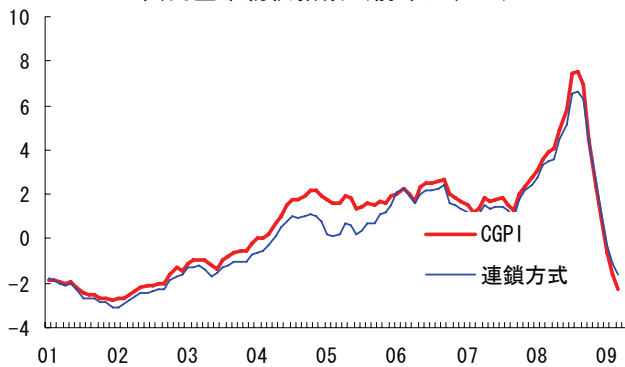
が拡大した。このことから、全国消費者物価（生鮮を除く総合）についても、3月は前年比▲0.2%と、07年9月以来のマイナスが予想される。

○国内企業物価は夏場にかけて急速にマイナス幅を拡大させる見込み

3月は前月比で小幅なマイナスとなったが、4月は再度マイナス幅が拡大すると見込まれる。世界的な粗鋼生産量の減少を背景とした鉄鉱石や原料炭価格の引き下げを受け、高炉メーカーで大幅な値下げがあり、鉄鋼が大幅マイナスとなる見込であることがその理由である。4月は前月比▲1%を超えるマイナスとなる可能性もあるだろう。

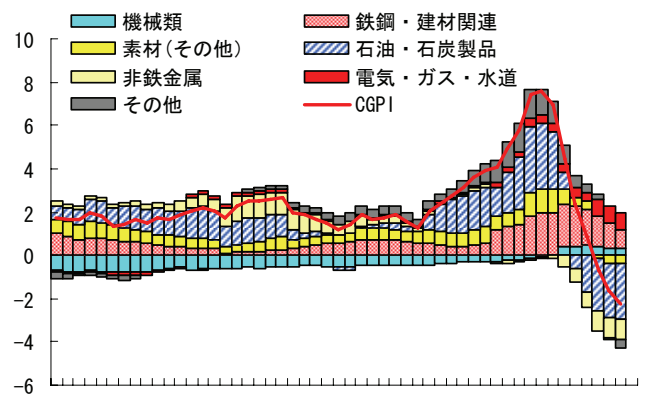
先行きについても、引き続き国内企業物価は前年比のマイナス幅を拡大させていくと考えられる。石油・石炭製品については、前月比では横ばい圏内での推移が予想されるが、去年の同時期に急激に上昇した裏が出ることから、夏場にかけて急速にマイナス幅を拡大させていく見込みである。加えて、鋼材価格の下落から、これまで価格が高止まりしていた輸送用機器、一般機器などが下落基調に転じる可能性が高いことや、輸入小麦の政府売り渡し価格の引き下げを背景に、5月から夏場にかけてパンや麺類などに値下げが波及していくと予想される。このように、今後は製品段階での値下がりも、国内企業物価の下押し要因となっていくと考えられよう。以上より、国内企業物価は夏場には前年比▲10%に近づく程にまで、マイナス幅が拡大する可能性もあるだろう。

国内企業物価指数（前年比、%）



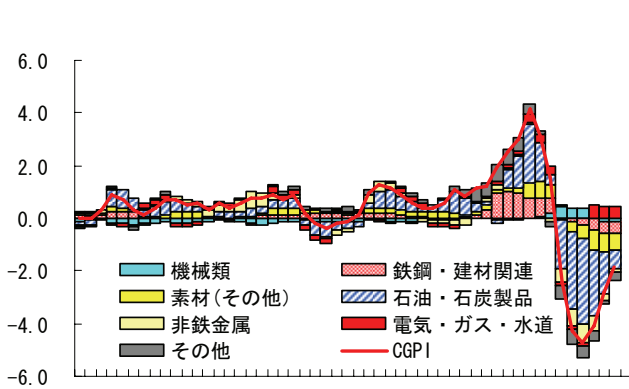
（出所）日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価寄与度分解（前年比、%）



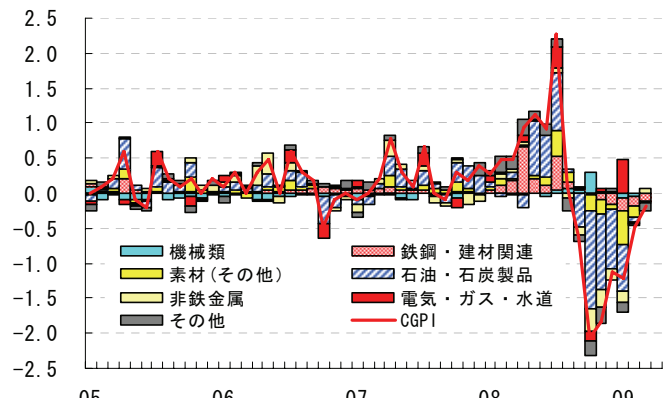
（出所）日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価寄与度分解（3ヶ月前比、%）



（出所）日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価（前月比、%）



（出所）日本銀行「企業物価指数」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

